

—健康は自然との共生で—

R&D Agency for Curative Natural Products

特定非営利活動法人

2005年4月号

天然資源開発機構ニュース

— Nature's Essentials —

第13号

シドニー大学薬学部名誉教授
特定非営利活動法人天然資源開発機構 理事長
医学博士 山 原 條 二

法人設立四年目を迎えて

本年度で本法人設立四年目を迎える事ができますのも皆様のご協力とご支援の賜物と改めて感謝致します。病気になる、合成の医薬品のみに依存しない健康作り、食養生の大切さと複雑な社会のストレスの回避方法、色々と模索してきました。京都薬草の森公園、試験農園、セミナーハウスなど研修の道場も着々と用意できて来ています。4月10日（日）の山開きと植樹祭には多数の方々の参加をお待ち致します。

会員の皆様の望まれる方向も見えてきました。“隗より始めよ”出来ることから完成して行き会員相互が楽しめるハードとソフト造りを共に進めたいと思います。

最後に本法人の事業推進にご理解くださる会員や多数の方々からのご寄附やボランティア活動に参加いただきましたこと、また地元の会員である開原林業の開原さんには“試験農園”用地の無償貸与をはじめ色々とお世話になります事を改めてお礼申し上げますと共に今後共ご協力をお願いいたします。

献木をお願い

京都薬草の森公園に植栽する植物（樹木、薬草等）の献木をお願いしておりますが先にお知らせした献木リストに下記の苗木を追加いたします。献木者には献木者名の名札を付けますので植物の生長を楽しみにして見守ってやってください。また肥料遣り、草取り等に時々はお越しく下さい。セミナーハウスが完成すれば泊り込みでの来園も可能です。皆様のご協力をお待ちしています。尚、献木寄付金は苗木1本の値段ではなく献木して頂く方のご意志による寄付金としてお願いしておりますのでご理解とご協力をお願い申し上げます。

追加苗木：柿（百匁）。栗（銀寄、森早生、天津）。バナナアケビ。ナツメ。サルナシ。緋寒桜。紅山桜。うこん桜（黄桜）。ギョウジャニンニク。

★ その他事務局へお問い合わせ下さい。



薬草の森公園入り口ゲート

試してみたい身の回りの天然物の薬効シリーズ (7)

“ベトナムケイヒ (桂皮)” “シュクシャ (縮砂)”

今回の目的は研修・視察旅行で行った生薬^{しょうやく}の専門家でもめったに見学できないベトナムの特産生薬2点の解説を致します。ベトナムは長くフランスの植民地であったのはこのような重要な香辛料の供給地として支配する必要があったわけです。

① ベトナムケイヒ (桂皮)

主としてハノイやダナンから数100km離れた山地に植栽されています。苗木から30年ほど生育した直径20~30cmの樹皮をシナモン (香辛料)、ケイ



桂皮の選別作業

(医薬品) として用います。日本産のニッケイは根の皮を用いますがベトナムケイヒは樹皮を用いる点が使用部位で大きく異なります。しかし特有の成分はケイヒアルデヒドとかケイヒ酸で京都の“八ッ橋”の香りでお馴染みです。胃腸薬として、また漢方薬では発汗、鎮痛などを期待して用いますがシナモンティーや香辛料として、またケイヒ油の製造原料でもあります。クスノキ科の植物です。写真のように表皮をサンドペーパーで除き数字の3の形になる。



桂皮の磨き作業

ベトナムケイヒは精油分も多く珍重されます。寒気や肩こり、風邪気味の時、金時ショウガ末1g+ケイヒ末0.5g+くず粉+ハチミツを100~150ccの熱湯に入れ就寝前に服用すれば著効があります。

② シュクシャ (縮砂)

ショウガ科の *Amomum xanthioides* の種子でショウズク (カルダモン) と同じ様に用いられる生薬です。芳香性の健胃薬ですが香辛料としてソースなどに多量用いられています。特有の芳香は含有されるボルネオールという成分に由来し有害菌を殺したり抗菌作用を持っています。又口臭を除去するのにも有効な生薬です。口腔内の有害菌にも有効で歯痛にも用いられます。



シュクシャの選別作業

活動報告

★ 「山原理事長と行くベトナム薬草視察と交流の旅日記」

2月17日；関空 19:55 発、現地時間 22:20 ハノイ着 (日本時間 24:22)。通訳兼現地案内役のタムさん夫妻の出迎えを受けホテルへ。旅行中の移動は全て専用バスにて行い快適な旅でした。

2月18日；ベトナム薬草研究所 (Institute of Material Medica) 訪問。ここは日本の現厚生労働省に当たる役所の管轄で所長は高級官僚とのことです。1957年の設立で約300種の薬草を栽培しそのうち約200種の薬草が実栽培に移され利用され、輸出もされているとのことでした。日本の薬草を栽培し日本に輸出するのが希望であるとのことでした。山原理事長からはご希望に応えられるようにお手伝いしたい、とのお話がありました。ミーティング終了後栽培地を見学。昼食後。市内見学。ベトナムの伝統芸能の粋である水中人形劇見学。

2月19日；ハノイから80km離れた Tam Dao の薬草村メディカルプラント (Nghiatrai Village) 訪問。ここは山地で肌寒い気候でした。高級別荘地でもあり、近くにはお寺があつて観光客も多く来ていました。途中の田園地帯は田植えの最中でした。何で今ごろ田植えなのだろうと不思議に思いましたがベトナムでは年に3回米が採れると聞き納得しました。ちなみにベトナムでは

200万tも輸出しているとのこと。一般の人には見学不可能な桂皮・縮砂加工工場を見学。桂皮・縮砂の加工方法を勉強でき大変貴重な体験をしました。

2月20日；ベトナム国内線でダナンへ。ラオスとの国境に近い山岳地帯の金時ショウガ栽培地へ。途中の山道は日本と同じ様に見える羊歯や雑草が生えており日本の田舎によく似ていました。

2月21日；シルク工場見学。ホイアン見学。来遠橋（日本橋）^{らいおん}と言う昔日本と交流のあった証拠の場所を見学。ベトナム国内線でホーチミン（旧サイゴン）へ。市内観光、買物。

2月22日；メコン川へ。メコン川にある島へ渡りココナツキャンディー工場など見学、熱帯果物、蜂蜜酒、ホテルでは絶対に食べることの出来ないドリアンも賞味。メコン川クルーズ。ハノイ空港発。

2月23日；関空着6:35。解散。

交流会、買物、食事の世話等々タムさん夫妻には大変お世話になりました。言葉の通じない異国で楽しく、愉快地、皆が満足でき何のトラブルも無く無事帰国できたのもタムさん夫妻及び田中實士さんのお陰であると同感謝しています。有難うございました。

★ ベトナム薬草旅行に参加して

会員 M・S さん

私は締切りを過ぎてから急に決心して参加させて頂きました。若い時、「ベトナム戦争の」ニュースが毎日報道されていた事を考えると感慨深い思いもありましたが・・・

（2月17日）：夜19:05に関空を出発し夜中にハノイに着きすぐホテルに入りました。部屋は古くても良きベトナムを思わせる重厚で広々としていました。

（2月18日）：朝、池を見ることの出来る食堂で持参した納豆を食べてからベトナムお粥をいただきました。切った果物は食べないように注意しつつもちょっと残念にも思いました。

バスで薬草研究所を訪問し薬草を視察後、昼食は初めてのベトナム料理、^{きんさい}「香菜」を除けば別にあまりくせのある料理でなくエビ、カニの茹でたものや野菜も炒めただけで、辛味のあるタレをつけて食べるシンプルなものでした。ハノイの市内はあまり綺麗な町とは言いが賑やかな事。アオザイの美しい布がベトナムに行く前から欲しかったのですが自己分析の結果止めました。夜の食事はベトナム厚労省高級官僚のエリートと伴にしました。若い頃は軍人かと、歩く姿が正にスキがないという印象を受けました。



^{きんさい}香菜などのベトナム料理の一部

（2月19日）：薬草栽培の山の中に行きました。途中の道路の両側には田植えの時期で多くの人が手植えをしていました。水牛、ロバ、牛を多く見かけました。天秤で物を運ぶ人がいたり、何か自然にゆったりと懐かしい気持ちになりました。山は少し寒く小雨模様、その中を薬草等の栽培を見学後お寺にお参りしました。ハノイの別荘地との事でした。夜、ベトナムの琴（ラントム）や一弦琴（ダンバオ）の音楽付き食事、ベトナムのビールでカンチェー！（乾杯）沢山で食べきれない程でした。本当に美味しい料理でした。



金時ショウガ畑での記念撮影

（2月21日）：ハノイから国内線でダナンの小さ目の空港に降りる。市内のあまり綺麗とは思えない食堂でベトナム麺（ベトナムうどん：米でつくった麺）を食べる、あっさり風味。その後ひたすらバスは走る。段段畑が続く山の向こうは

ラオスという所で金時ショウガは栽培されていました。ショウガは農薬、肥料をまかずに自然力にまかせてつくられていました。一度収穫するとその後2、3年はその地に植えないほど土地の栄養を吸収して出来るとの事でした。雄大な山々を見て感激しましたが、公共施設である立派な建物でもトイレのないのにびっくり、これこそ自然(?)！暗くなってダナンのホテルに入り食事に行く。本日はクタクタ、夜中に足がつってしまった程でした。

(2月20日)：ダナン飛行場で待っている時、写真を撮ろうとしていた人が係官に制止されていた。軍空港でもあるらしい。ダナンからホーチミンへ。ホーチミンの市内観光へ。大きな市場にはあらゆる物が所狭しと積まれていて歩くのもままならない。外ではヘビ、ヤモリ、ネコまで売っている。華僑地区で漢方薬の原料を多く見かけたがあまり清潔な感じに思えなかった。ホテルは立派で新しかったがシャワーのみでサッパリしなかった。

(2月22日)：最終日。メコン川クルーズに出発。船着場には日本人旅行客が沢山いて何かお隣さんといった感じでした。舟に乗ると水が濁っていて流れは速く感じませんでした。舟のなかでヤシの実一個を切って中の果汁をストローで飲みました。程よい甘さで美味しかったです。メコン川の兩岸には大きな工場が1、2あるだけでまだまだ自然が残っている。その川の中にある島の一つ、キリン島に上陸し南国フルーツを食べる。今日帰国とあって今までの用心も忘れドラゴンフルーツ、パパイヤ、スイカ、リュウガン等をいただく。又ドリアンを買って店で切ってもらい食べる、トロリとして美味。島全体にリュウガンやバナナ等ができています。ミズヤシの林の中の水路を小舟で行く。戦争中皆が逃げ隠れした所と聞き平和であればこそと思い島を後にした。早めの夕食。残り惜しい気持ちと共に落ち着かず空港で土産を買い一息。夜半出発し一路関空へ。2月23日朝着。

この旅行でハノイ、ダナン、ホーチミンと先々で日本人商社員らしき人々や多くの日本企業名を目にしました。ベトナムだけでなく地球にやさしい仕事であることを願いました。

大変お世話様になりました。良い旅行を有難うございました。

★ ビックリ！！びっくり！！吃驚！！…驚きの連続

会員 山田 信吾 さん

ベトナム薬草視察の旅 初めての国の訪問(旅)は大満足だった。

ハノイから30km離れた薬草村での歓迎は厚労省の高官の出迎えて山原先生って偉い先生なんだナーとびっくりしました。今まで一緒に馬鹿言い合って飲んでいた事に我ながら驚きました。このような思いで旅が始まりました。厚労省管掌のタムダオにある高地薬用植物園近くの山中の寺に登ったときに僧侶でなく一般市民が仏前でお経をあげているのにも驚きましたが



ベトナム薬草研究所での交流会

お経の本は漢字で書かれている事を知り、また驚くこととなりました。日本で一般の人々がお寺の本堂でお経をよむ姿などは見ることも出来ないのが日本の仏教でもあるのかな、このことも驚いた。ハノイの涼しい土地からダナンに向かえば日本の昭和20年代の田舎の田園地を見ることになる。私も十代の時に牛で農耕をしていたことを思い出す事となりました。俺も裸足で牛の尻をたたいていたんだなー！バスを降りて鋤を持ってみたい思いにもかられました。心配していた三度の食事でも香辛料が多く入っていたが先ずはそんなに心配することも無く食べることが出来たし、何時も出てくる海老・蟹にはびっくりしたし、何故こんなに海産物が多いのかにもびっくりしたのですが、よくよく考えてみれば南北に長い国であり、国の東側は全て海であることも知ることができました。



茹でたカニ

金時ショウガの作付け畑を見たときも驚きました。もっともっと広々とした平原にショウガ畑が広がっているものだとばかり思っていたのが山奥の草の中で栽培されていました。何故？と思ったのは私だけでは無かったと思う、だが山原先生の説明では土地の力だけで肥料も与えず消毒もしないで1ヶ月間かけて育てるからこそ良さが有ると聞き納得しました。ベトナム最後の日のメコン川クルーズは楽しい一日でした。ホテルを出て2時間半もかかって川までたどり着きましたがメコン川の大きさにもびっくりされた方も多かったことと思います。また市街にバイクの多いのには皆んなびっくりしました。世界で三大美味果と言われるドリアンも食べることができましたし（皆んなで食べれば怖くない）、ベトナム料理を食べベトナムビール（銘柄333；バーバーバー、サイゴン、タイガー）やベトナムウオッカ（米でつくった焼酎）を飲み皆な大満足では無かったでしょうか？



憧れのドリアン(左がカットする前の写真)

メコン川クルーズに行く私の半そで半パンツ姿を見て山原先生に亀岡でマラリア発生と新聞に出るぞと威されましたが、今だにそのような新聞記事も出ることなく元気でいます。山原先生は私が勝手に思っているよりはすごく国際的で、すごく偉い先生なんだなー、ということも知ることとなりました。観光は少なかったが今まで体験したことのない充実した旅で大満足でした。

★ ？！！はて行くところは未知の国？！！

会員 お宮代表 N・K さん

はて行くところは未知の国。昔サイゴン…今ホーチミン。北はハノイの寂しい農家。どこか日本の僻地に似てて、哀愁ただよう奥地の様子。故人のため息聞く思い。ベトナム戦争30年^{やみ}過^{ひなた}！歴史が景色の間から蘇りして、そぞろ哀れに偲ばれる。あ、あ、裏から表のこの行程心行くまで堪能し、ときには現地のこの小屋に我を置き車は進む。

貧しいことは喜びひとしお。苦勞の数だけ身は引き締め。仲良さそうにおっとり「ララ」水牛が笑うてる。三度の田植えもあらまあ。故人が田に居た日本と同じ。ふんだんに有る野菜や果実、自然を食べてか足腰丈夫。身の軽やかさに食事を思う。「犬見いひんわあ」「みな喰うたんや」ヘッヘッヘッ。「楽しみ。何が出るやろか！」車中の一行ニーヤニヤ。

それぞれ個人の商売人。肩にかついで店出して。偉いもんだす、誰かと違くて。鍋かきまわす老婆の姿が気にかかる。「先生！爺さん見いひんわ」「そら皆んな殺されたんや」「ははんそうかな。ナンマイダー」この世の食べ物何でもありいヨ。興味深々「安かア安かア」ひしめきおうてどないしょう。すごいヨ！市場はごったゴター！

共產圏だネ広い道。縦横しっかり道を取り。その両端を一行に、赤土のレンガ造りでびっしりひつつく長屋の長さ。郊外には高級別荘も。

ハノイから80kmへと車窓の外は覆面男女の三人乗りヨ！目だけ出してや赤ちゃんつかんでブーブー。勿論車線はありません。無視々々しながらうなりをあげてのバイク様（ホンダ）横目で睨むとタクシーペコン愛車もすり傷遠慮気味。右も左もなにぬねの。一杯いっぱい隙間なし。「真正面からぶつかり来るヨー」スリル満点「へっちゃらさー」「行て見てごらんヨ！」ビックリ仰天。

偉いさんとの歓迎会。パチクリしながら桂皮等優しい説明肝に入る、



田園風景



雑多な商品の市場



市街地にあふれるバイク群

「京の八ツ橋含みつつ…」仕事もたっぷり、働くね。

さてショッピング皆な自由。「広い道巾、どないして渡ろ?」「向かいに行きたや覗きたや」七変化して笑わせまくる貿易商なるベテランT氏「皆な一つのダンゴになってささ渡りまひよ」とのたもうた。ダンゴはすき好き。一致団結、どこかで聞いた。恐くはなかった。不思議でしょ。

そもそも山原グループは初めて会ったその日から心開いて(股間違えた)胸開いては思うがままに口開き、あけっ放しの心地よさ。「上も下もあるかいな」「皆兄弟でよろしおま」「ほやから楽しんで美味しおす」

ダナンからホイアンへ!…私のバスは楽しいの。小っちゃな椅子での家の前、股を広げて人寄り添うてしゃべる傍らさらさら飯を、魚を食らうは動と静。入り混じっては、何とも和む南画の一幅。

贅沢目指すはホーチミン。市内観光ありました。横断歩道がキッチリと。まぶしく豊かで美しくや。官邸の色それに似て。刺繍や女工をとみこう見や。お店で「ヒスイ買いはったあ」!!別格待遇アリガトウ。行くも止まるも顔広し。あちら様たち先生に隠れた身共をもてなしてくれた。

笑えばなしの一行は丸めたダンゴになったとサ。八味丸料ならずとも十四味丸料(14名)高おます。呑んでも噛むでも味よくて、効き目抜群最敬礼。

血と垢染みた蓮に酔い、寺に参るは老若男女。声明、供物、線香と…。

鮮やか優美なドレスの娘。色香を感じて五感が開く。「踊りをアテに美酒たしなむは誰方はん?」旅の気候はよろしくて、囲むテーブル美男美女。善男善女でないけれど座すは素敵なレストラン。

ホテル宜しや女王様(汚れは覚悟してたのヨ、ゴメンネ)。

メコン川クルーズ「こりやすごい!」^{オール}權で生きてやその人爽やか。「平和で今が幸せ」と日本語で聞く心地よさ。ジャングル舟も嬉やナ。ココナツキャンデー、蜂蜜園、熱帯植物珍しい。

「戦い当時は、椰子の葉で敵から見えず、ありがたや」「ここらは命が助かった!」川が通路で行商に、冠婚葬祭 往時を思う。6000人が島に住む。「ああ異郷!」「広くて深いよメコン川!」(長い橋を掛けてたヨ)。川傍にあるガソリンスタンド。ジッと見ていた異国の情緒。この泥川をこそアジアを潤す恵の流れ。土砂と泥水繁栄を!

ホーチミンにてT氏のたまわく「今見る今夜のこの月は皆さんが日本に帰って見る月と同じ一つの月です。」とああ真実の一つ。ツー。おみやさんは泣けてきた。ハットお別れ言の葉にあたりまえでは済まされぬ。覗くとT氏真顔やったあ」……疲れたでしょうに。ごめんなさい。



優美なドレスでの生演奏



お寺で手を合わせる善女



水椰子の生える水路を行くメコン川クルーズ

..... ♡ ○ ♡
駆け引き無しの集い人。山に^あつても夢すごいい!
すごくロマンを感じます。“昼、蒜間^あ違い、蛭^あも一つのハプニング”嫌いなさんナ、
寄りましょネ。(熱海でなくても行きますか?)

京都薬草の森公園へ)

寛一殿^のオー!!

—— おみや一同 ——

4月・5月・6月の行事案内

自然療法アドバイザー養成講座

4月23日(土)・28日(木) 14:00~17:00

5月21日(土)・26日(木) 14:00~17:00

6月21日(土)・26日(木) 14:00~17:00

総会案内

2005年度総会を開催します

日時: 5月26日(木) 13:00~14:00

場所: 事務局3F

総会終了後自然療法セミナーを行います。

京都薬草の森公園の山開きと植樹祭

4月10日(日)に京都薬草の森公園で山開きと植樹祭を行います。

皆様から献木して頂いた木や薬草を植えて頂きます。また薬草・野草観察会も行います。

是非参加して頂いて京都薬草の森公園の素晴らしさを体験してください。そして他の会員様やお知り合いの方に知らせてあげて京都薬草の森公園の整備にも参加して頂くようにPRをお願い致します。

京都薬草の森公園整備

これからの整備日は、4/7(木)、4/10(日)(植樹祭)、5/5(木、祝)、5/19(木)、6/5(日)、6/16(木)、です。是非ご協力下さい。参加して下さる方は事務局まで必ずご連絡下さい。又自然木の家に興味を持たれている方も同様に事務局へご連絡下さい。

市民公開講座(9)

「薬膳入門(実習)」のお知らせ

季節の薬膳(夏の養生法・蕃秋)

日時: 6月14日(火) 13:15~16:30頃

場所: 京都市女性総合センターウイングス京都
京都市中京区東洞院通六角下る。

参加費: 1500円(非会員は2000円)

定員: 20名

申込み締切り: 6月7日(火)

身近な薬草観察会(7)

筍掘り体験と吉野の桜見学

阪口薬膳研究所の阪口先生のご好意により筍掘りの後で筍料理を賞味して頂きます。また掘った筍はお持ち帰りください。

日時: 4月17日(日) 11:00~16:30頃

場所: 奈良県吉野郡吉野町山口

集合場所: JR桜井駅(10:30)

参加費: 500円(非会員)。会員は無料

定員: 20名

朝日カルチャーセンター・京都の講座 (講師: 山原理事長)

● 健康講座・アレルギー疾患に勝とう!~自然療法の知恵

日時 2005年4月9日(土) 10:30~12:00。受講料 2940円

● 穴太・坂本に薬草を訪ねて(現地講座)

日時 2005年4月30日(土)13:00(雨天順延) 京阪電車石坂線「穴太」駅集合。受講料 3150円
申込み、問い合わせは直接朝日カルチャーセンター京都教室(京都朝日会館8階)にしてください。

電話: 075-231-9693

会費納入のお願い

当会は皆様方の会費で運営されています。本年度も市民公開講座、京都薬草の森公園の整備等々の事業を行う計画をしています。これらの事業を行うには資金が必要ですので本年度の会費の納入をお願いいたします。

天然資源開発機構の案内パンフレット配布 とお知り合いの方への配布のお願い

天然資源開発機構の理念、活動方針、活動方法について多くの人々に知って頂くために案内パンフレットをつくりましたので同封致しました。お知り合いの方への配布をお願い致します。ご協力頂ける方は、必要な部数、住所、氏名、電話番号を事務局までご連絡下さい。

寄付金及び献木寄附金のお礼

多数の会員様からの寄附金及び献木の寄附金を合計 700,000 円頂きました。有難うございました。有用に活用致します。ご寄附頂いた方のお名前は匿名希望の方もありますので省略させていただきます。

山原理事長の監修小冊子及び著書の紹介

当会では下記の小冊子・著書を取り扱っています。

尚、部数がまとまれば頒布価格の割引も致しますので事務局にご一報下さい。

No.	小 冊 子	定 価	備 考
1	甘茶（ノンカロリーの甘味剤で抗酸化作用が強い。抗アレルギー作用）	350 円	税 別
2	金時ショウガ（体の錆止め、冷え症改善、鎮痛作用、抗アレルギー作用）	350 円	税 別
3	薬草・野草の力 金時ショウガの秘密【学術書】	800 円	税 別
4	紅景天（アルコール排泄や腎機能の賦活）	400 円	税 別
5	サラシノール茶（糖尿病・肥満に効きます。生活習慣病、こむら返りに有効）	400 円	税 別
6	サラシノール茶Ⅱ（高脂血症、動脈硬化、脂肪肝に効きます）	450 円	税 別
7	薬草・野草の力 サラシノール茶【学術書】	800 円	税 別
8	藻塩ものがたり（高血圧になりにくい海藻ミネラル塩です）	350 円	税 別
9	チョロギの効用（脳梗塞を防ぐ不思議な薬草です）	400 円	税 別
10	東洋医学入門（一般的な東洋医学の入門書です）	400 円	税 別

1	神農本草経を巡りて（最古の薬草書の解説書です）		税 別
2	京都の薬草百科（暮らしに密着した薬草130種の解説書です）	2500 円	税 別

編集後記

早いもので今期も終わろうとしています。今期は待望の京都薬草の森公園の用地を確保でき、整備にかかっていますが整備には多くの人手が必要です。また4月には試験農園も開園され野外活動も益々充実していきます。その他にも色々な行事を計画しています。皆さん、これらの行事に奮って参加して有意な天然資源開発機構にしていきたいと思います。皆様の活動を期待しています。

研修や入会のお申込、その他お問い合わせは下記事務局へお願いいたします。

発 行 所：特定非営利活動法人 天然資源開発機構
 発 行 人：山原條二
 編集責任者：伊勢武夫
 事 務 局：〒602-8026 京都市上京区新町通樺木町上ル
 春帯町 344-2 折坂ビル2F
 電話：075-256-0811 FAX：075-257-3591
 E-mail：npo-tenshikai@gaia.eonet.ne.jp